

ほくほくフィナンシャルグループの 新たなステージに向けて

本年6月にほくほくフィナンシャルグループ副社長および北海道銀行頭取に就任した私の使命は、「当社グループの新たなステージへの進化の実現」とその進化による「ステークホルダーの皆さまへの新たな価値の提供」だと考えております。

この実現に向け、特に重要であると考えている「ニューノーマルへの対応」「グループシナジー発揮への取り組み」「デジタル化への対応」「人財マネジメント」における当社グループの取り組みについてご説明いたします。

取締役副社長 兼 間 祐二
(北海道銀行 頭取)



ニューノーマルへの対応について

2020年に入ってから新型コロナウイルス感染拡大の影響は、私たちの行動様式・価値観そのものに変化をもたらしました。これは働き方や人とのかかわり方に大きな影響を与え、我々地域金融機関にとってもこれまでの対面を前提とした取引慣行に大きな変化が求められています。

2020年度においては、政府系金融機関との連携による経営改善サポートや、デジタルツールやオンラインツールを

活用した非接触型のサービスメニューの充実など、ニューノーマルへの順応に向けた取り組みを強化してまいりました。

当社グループは、現中期経営計画「ALL for the Region」で目標とする「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化することこそ、ニューノーマルへの対応に最適な解であると捉え、スピード感を持った「進化」を進めてまいります。

グループシナジー発揮への取り組みについて

現中期経営計画「ALL for the Region」より当社グループは、グループ連携をこれまで以上に強化していくことを重点戦略とし注力してまいりました。

本部においては、2019年6月より両行経営企画部の人員が同一ロケーションで勤務するというこれまでにないチャレンジをスタートさせました。また、両行の営業連携を推進するため専任人員の配置も行いました。約2年が経過し、少しずつではありますが着実に様々な効果が表れてきております。今後は、これらの効果をさらにスピードアップさせるべく、2021年6月より「経営企画部」「営業戦略部」「リスク統括部」「監査部」に組織改編

を実施しております。

営業店においても「ほくほく連携」というネーミングのもと、両行の広域連携を活用した協調融資やビジネスマッチングなどのソリューションを提供していくことに注力しております。引き続き、この当社グループならではの連携ソリューションを強化することで、お客さまに新たな付加価値を提供してまいります。

また、証券会社やカード会社、リース会社など関連会社との連携も推進しています。今後、さらにグループとしての最適な形を目指し、総合金融グループとしての機能強化に取り組んでまいります。

デジタル化への対応について

我々ほくほくフィナンシャルグループは、もともと広域地銀グループであり、テレビ会議や、オンライン会議システムを搭載したタブレットパソコン、印鑑レスの稟議システムなど、他の金融機関に比べ比較的早くから行内インフラ環境を整備してまいりました。また、お客さまに向けてもスマートフォン向けアプリやインターネットバンキングなど多様なチャネルをご提供しています。

2020年度においても、お取引先への情報提供や書類の電子交付などを可能とする「法人向け電子交付サービス」やタブレットを活用してお客さまの預かり物件受け渡しを行う「預かり物件管理システム」の導入、ホームページ

のリニューアルなど、お客さまの利便性向上と我々の業務効率化に繋がる仕組みづくりを進めてまいりました。

また、5行共同システムであるMEJARにおいても、2024年稼働予定の次世代渉外支援および融資審査システムの開発に着手しております。今は別々になっている各システムのデータを一元的に管理し、提案活動の量と質の向上につなげていくことなどを目指しております。

今後もFace to Faceのお客さまに寄り添った対面サービスとお客さまの利便性を追求したデジタル金融サービスを両立した最適なデジタル化を進めてまいります。

人財マネジメントについて

これらの取り組みを進めていくためには、若手や女性も含めたすべての従業員が生き生きとやりがいをもって働くことのできる「人財マネジメント」が最も重要であります。

当社グループは、健康経営、ダイバーシティ、働き方改革の推進に取り組む、人事制度等も適宜見直しを図ることで、

多様な人材が、柔軟な働き方をできるよう努めてまいりました。

金融インフラとして営業時間が決まっていること等に起因し、労働集約型産業の側面もありますが、デジタルツールの活用や発想の転換により、今後も様々な見直しに取り組み、持続可能性の高い組織を目指してまいります。

新たなステージに向けて



今年度は現中期経営計画「ALL for the Region」の最終年度となります。最終年度をしっかりと締めくくるとともに、新たなステージに向けた土台を作る1年にしたいと考えております。

そして新たなステージにおいては、我々の経営理念である「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」のもと、地域NO.1の金融サービスにより、お客さまや地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに新たな価値を提供できるよう、ほくほくフィナンシャルグループ副社長および北海道銀行頭取として取り組んでまいります。



求められる新たな様式

ほくほくフィナンシャルグループは、ニューノーマル(ウィズコロナ・アフターコロナの社会情勢)に適応していくため、各種ツールを活用し、地域・社会・お客さまへの支援に取り組んでおります。



地域・社会への支援

■ 寄付金、募金

「<ほくぎん>寄贈型SDGs私募債」(北陸銀行)、「道銀SDGs私募債」(北海道銀行)*の寄付先を追加

富山県 富山県新型コロナウイルス対策応援基金 福井県 「心をひとつに ふくい応援」基金
石川県 医療従事者への支援として活用 北海道 「エールを北の医療へ!」

*「道銀SDGs私募債」の寄付先については、北海道「エールを北の医療へ!」のみ追加

北海道医療従事者応援募金口座を開設・受付(北海道銀行)

新型コロナウイルス感染症の治療・感染拡大防止活動に従事する医療関係者の方を支援



■ キャッシュレス化

ほくほくフィナンシャルグループは、紙幣や硬貨の使用機会を減らすことで、接触感染リスクを引き下げることに、また、キャッシュレス決済は会計スピードが速く、会計待ちの行列を防ぎ、ソーシャルディスタンスの確保につなげるため、地域のコロナ感染予防対策に有効である地域のキャッシュレス推進に努めております。



お客さまへの支援

■ 政府系金融機関との連携

「Be With(ビーウィズ)」、「Bright Signs(ブライツサイン)～明るい兆し～」を創設

～資本制劣後ローンによる協調融資を行うため、日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と連携～

北陸銀行および北海道銀行は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、一時的に財務状況が悪化する事業者が増加することが懸念されている中、本連携ユニットにより、協調融資による資金繰りの支援や、各機関から本業支援に関するソリューションの提供を行うことで、お客さまの経営改善をサポートしております。

・Be With ご利用イメージ



■ デジタルツールの活用

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの「生活様式の変化」にお応えするため、より便利にご利用いただける非対面サービスの向上に努めております。

- ・「個人向けインターネットバンキングサービス」のリニューアル(北陸銀行・北海道銀行)
- ・「個人向け口座開設アプリ」の導入およびリニューアル(北陸銀行、北海道銀行)
- ・「ほくぎんビジネスポータル」の導入(北陸銀行)
- ・「HBA(Hokuriku Big Advance)」のサービス開始(北陸銀行)

■ オンラインの活用

北陸銀行および北海道銀行は、これまで対面型で行ってきた各種セミナーを、オンラインやオンデマンド形式で実施しております。

北陸銀行	北海道銀行
<ul style="list-style-type: none"> ・ほくろく長城会緊急オンラインセミナー ・投信オンラインセミナー ・経営者のための勤怠システム活用セミナー ・貿易保険入門&活用セミナー ・ほくぎんビジバ倶楽部経営セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業者、ヘルスケア事業者向けセミナー ・資産運用オンラインセミナー ・新型コロナ対策オンラインセミナー ・確定拠出年金オンライン投資教育セミナー ・電子請求書・電子契約書オンラインセミナー



ほくほくFGの「総合力」

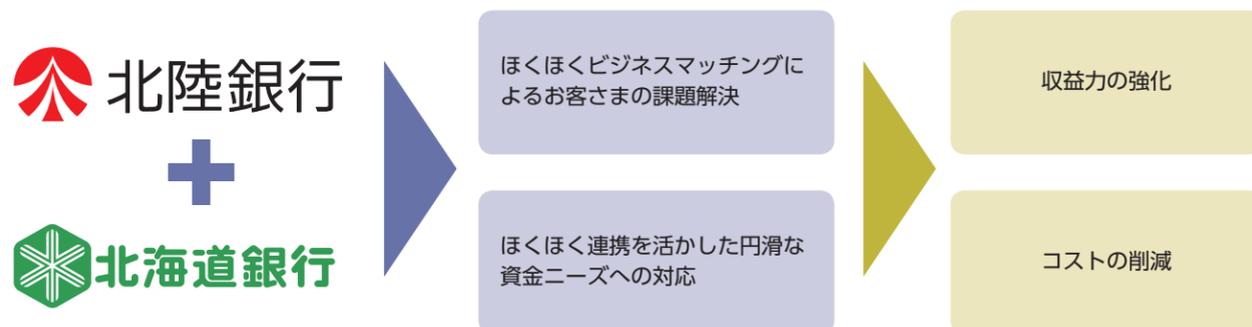
ほくほくフィナンシャルグループは、両子銀行におけるシナジー効果の追求に向けた機能的な組織体制の構築を進めることで収益力の強化とコストの削減を両立いたします。

また、主要な子会社である北陸銀行・北海道銀行を中心に各子会社とともに連携を図ることで、総合金融グループとしての金融サービスを提供しております。



「ほくほく連携」の深化

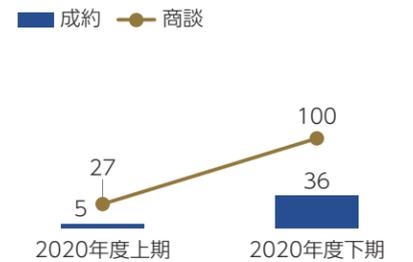
北陸銀行および北海道銀行は、ほくほくフィナンシャルグループの特色や、各行の強みを生かし、お客さまの課題解決に取り組んでおります。



■ ほくほくビジネスマッチングによるお客さまの課題解決

販路拡大(食品、商品、設備機器、ソフトウェア等)や新たな仕入先や外注先の確保、人材のご紹介やシステムを活用した生産性向上や営業力強化、経費削減等多岐にわたるお客さまの課題に対して、「ほくほくビジネスマッチング」の枠組みを通じて、北陸銀行とリンカーズ社が共同開発したビジネスマッチングシステムを2020年4月から北海道銀行も活用を開始し情報共有を積極的に両行で行い、各地域で課題解決が出来る可能性のある両行の取引先を検索し、ご紹介や商談についてサポートを行っております。

ビジネスマッチングの商談と成約件数



2020年度 ほくほくBMの成約事例

- ・北陸にある酒造メーカーや食品製造会社(地元銘菓や水産加工品等)の販路拡大ニーズに対し、北海道銀行の複数の取引先をご紹介
- ・北陸銀行取引先の販路拡大と北海道銀行取引先の新たな仕入れ先を確保

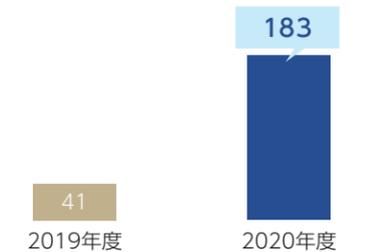


ほくほく連携を活かした円滑な資金ニーズへの対応

北陸銀行および北海道銀行の本部、営業店が参加する「ほくほく連携会議」を通じて、北海道内での対面による情報共有、リモートツールを活用した本州と北海道を結んだ情報共有を積極的に行い、お客さまの多様な資金調達ニーズへ、より迅速に対応すべく取り組んでおります。

拡大を続けているお客さまのM&Aニーズのうち、遠隔地の企業を子会社化するケースも増え、その子会社の資金ニーズに対しても両行の広域店舗網を生かし、対応が必要な地域に店舗を構えるグループ銀行がそのニーズへ対応出来る仕組みを構築しております。

連携による融資実行件数



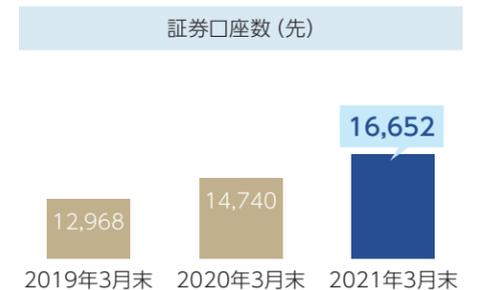
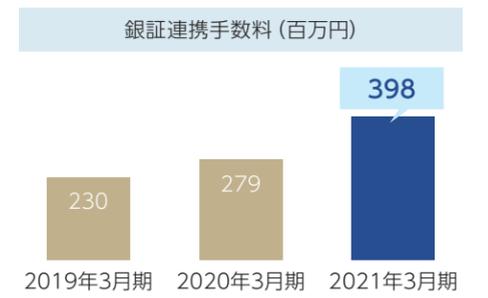
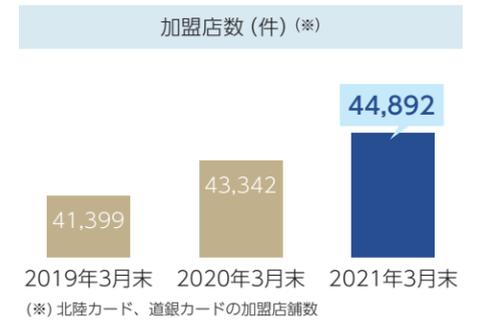
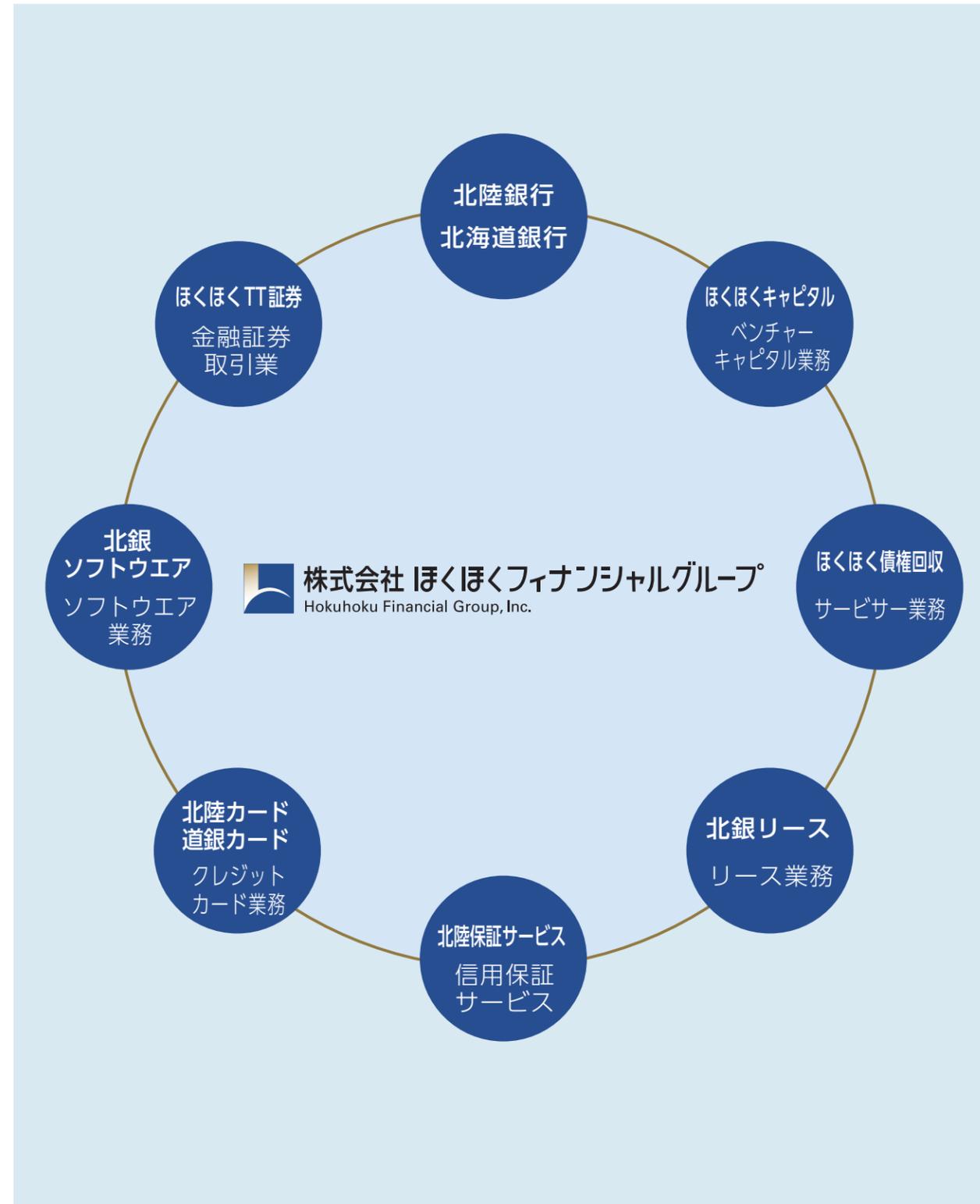
2020年度 ほくほく連携を活かした資金ニーズ対応の事例

- ・北陸銀行東京地区の取引先が北海道本社の企業を2社M&Aにてグループ化
- ・2社の資金調達ニーズに対し、1社は両行営業店にて協調融資、のこり1社は北陸銀行の店舗がない地域であったことから北海道銀行にて資金調達支援を実施



総合金融グループとして

幅広い資産運用ニーズへの対応、地域のキャッシュレス化推進、将来性のある地元ベンチャー企業への投資支援、デジタル活用支援、調達手段の多様化への対応など、グループ各社が連携を図ることで、様々なお客さまの課題解決に取り組んでまいります。



TOPICS

関連会社における経常利益の増加

総合金融グループとしてグループ一丸となって取り組んできた結果、2020年度の銀行を除いた関連会社経常利益は、2018年度比+16億円、2019年度比+3億円の35億円と順調に増加しております。引き続きグループ各社の連携を強化することでグループ全体の収益の向上も実現してまいります。



営業拠点の拡充

ほくほくTT証券において道内3拠点目となる帯広支店を北海道銀行西五条支店内に2021年6月開設いたしました。ほくほくTT証券は、本店営業部、金沢支店、福井支店、札幌営業部、旭川支店を含む6拠点体制で引き続きお客さまに最適なソリューションを提供してまいります。



DXへの進化を目指して

ほくほくフィナンシャルグループは、激変する外部環境の変化を的確に捉え、Face to Faceのお客さまに寄り添った対面サービスとお客さまの利便性を追求したデジタル金融サービスの両立を目指し、様々な取り組みを実施しております。



スムーズでスマートなFace to Faceのサービスへ

ほくほくフィナンシャルグループは、お客さまにご来店いただく際や直接ご面談をさせていただくことが必要な際にもスムーズにお取引いただくことができるよう、デジタル化を進めております。

来店予約サービス

北陸銀行は、来店予約サービスをリニューアルし、スマートフォンやパソコンで空き状況をご確認いただき、即時にご予約完了できるようになりました。これにより、お客さまのスムーズな来店が可能となり、より一層資産運用・ライフプラン等のご相談を承る機会を創出できるようになっております。



住宅ローンの電子契約

北陸銀行および北海道銀行は、住宅ローンの電子契約サービスを開始しました。本サービスにより、紙の契約書における署名・押印と同等の法的効力のある電子署名が契約書に付与されます。これにより、手続きが簡素化したことに加え、ペーパーレスとなることにお客さまにご負担いただいていた印紙代が不要となっております。

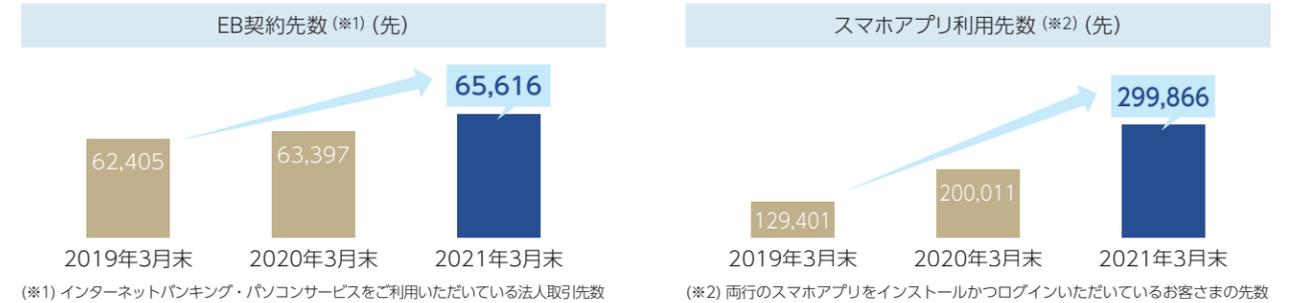
預かり物件管理システム

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの利便性向上、厳格・明確な管理、事務運営の効率化を目的として、タブレット端末を活用した「預かり物件管理システム」を導入し取り扱いを開始しました。同システムにより、職員が営業店窓口や訪問先で、お客さまから現金や通帳などをお預かりする際にタブレット端末に入力することで、「預かり物件」をシステムで一元管理しております。



いつでもどこでも銀行サービスを

スマートフォンの普及、新型コロナウイルス感染症の拡大によりお客さまのセルフサービスのニーズが急激に高まっております。ほくほくフィナンシャルグループは、そのようなお客さまのニーズを的確に捉え、サービスの拡大と利便性の向上に取り組んでおります。



「ほくぎんビジネスポータル」の導入

北陸銀行は、「情報提供」、「電子交付」、「Web受付・相談」、「ID連携」の4つの新機能を搭載した「ほくぎんビジネスポータル」を導入しました。これにより、書面交付のペーパーレス化や、融資等の各種サービスのお申し込みや相談等ができるようになり、ご来店いただくことなくお取引ができる業務領域が大幅に拡大します。また、法人向けインターネットバンキング機能を拡張し、コロナ禍で多様化する働き方に合わせて場所や時間を気にせず銀行取引が行えるよう、入出金等のメール通知機能を追加するほか、スマートフォンでのご利用にも対応しております。



オンライン契約（無担保ローンWEB完結サービス&オンラインでの生命保険）

北陸銀行および北海道銀行は、お申し込みからご契約までインターネット上で完結し、24時間365日来店不要で各種ローンのお手続きが可能となるWEB完結サービスを提供しております。これにより、お借入れまでの日数が大幅に短縮しております。

また、メディケア生命保険会社と提携し、インターネットによる完全非対面の生命保険募集を開始しました。これによりホームページを通じて、生命保険のお見積りからご契約までのお手続きができるようになり、日中のご来店が難しいお客さまでも生命保険へのご加入が可能となっております。

銀行アプリ、ホームページの機能向上

北陸銀行および北海道銀行は、「お客さまがいつでもどこでもお手持のスマートフォンを活用してお手続きを行うことを可能とする銀行アプリ」やホームページの利便性やセキュリティを向上すべく、随時リニューアルを実施し、機能の向上に取り組んでおります。



TOPICS

2024年共同利用システム「MEJAR」*のオープン基盤化

MEJARの2024年更改において、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、様々なハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」を採用いたします。基幹系共同利用システムのオープン化としては、銀行業界初となります。

将来的な機能の拡張性、最新技術の活用が可能になるとともに、運営コストの大幅な低減が実現いたします。また、環境に配慮したグリーンITの導入により消費電力を現行比20%低減することで、CO₂排出量の削減にも寄与することとなります。

*MEJAR … ITコストの低減などを目的に2010年から稼働を開始した共同利用システム。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの利活用などを行うシステム、ATM、インターネットバンキングなどについて、ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行および北海道銀行を含む5行で共同利用。

多彩な「人財」が活躍する職場づくり

ほくほくフィナンシャルグループは「地域共栄」の経営理念のもと、グループで働く従業員一人ひとりが、持てる能力を最大限発揮し、地域社会ならびにお客さまの発展に貢献してまいります。



ダイバーシティマネジメントの推進

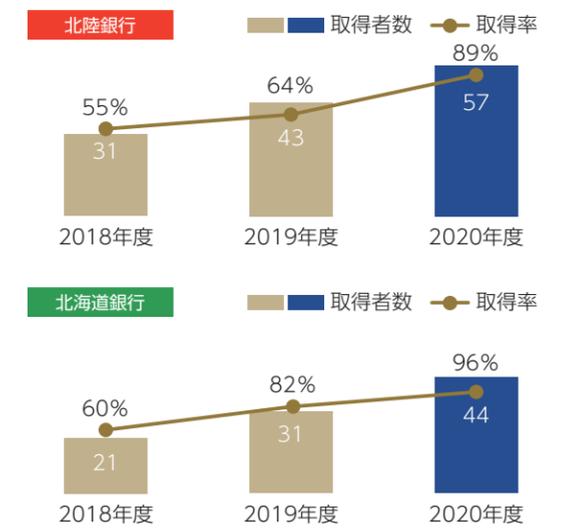
ダイバーシティマネジメントの推進を主要な経営課題と捉え、多様な人財が活躍できる職場を目指し、「キャリア形成への意識醸成」と「組織全体の風土改革」に取り組んでおります。

北陸銀行および北海道銀行では、ダイバーシティ推進室を設置し、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランス支援制度の充実、多様な働き方の実現等を通じて、意欲・能力のあるすべての職員が活躍できる環境の整備に注力しております。

女性の活躍推進（女性経営職・管理職）

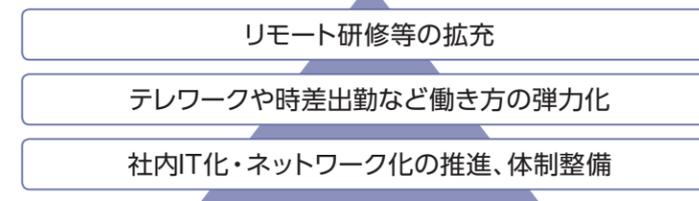


ワークライフバランス支援（男性育児休業）



多様な働き方の実現

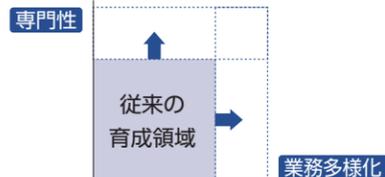
タブレット端末の導入、遠隔会議システムや外出先からもアクセス可能な社内ネットワーク環境を整備しており、コロナ禍においても、就業場所にとらわれない弾力的な働き方を実現しております。また、従業員の自律的な学びを支援するために、リモートを活用した研修体制も拡充しております。



2020年度 リモート研修実施回数	
北陸銀行	18回
北海道銀行	34回

人財育成

地域人口の減少や高齢化、デジタル化の進展などを通じ、お客さまニーズが多様化する中で、従来の銀行業務の垣根にとらわれない、幅広い知識や対応力、専門性を有した人財が求められており、多様なキャリア形成を積極的に支援すべく人財育成に取り組んでおります。



専門人財の育成

- 1級FP技能士・CFP資格の取得推奨
- システム人財の育成 など

研修機会の拡充

- コース別研修体系の見直し(北陸銀行)
- コンサルティング業務研修の拡充
- 融資業務スキルアップ研修 など

2020年度 1級FP・CFP資格保有者

北陸銀行	北海道銀行
171名	64名

2020年度 行外派遣研修人員

北陸銀行	北海道銀行
18名	10名

人財マネジメントにおける社外からの評価

<p>ホワイト500</p> <p>地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度</p> <p>2021 健康経営優良法人 ホワイト500</p> <p>北陸銀行 北海道銀行</p>	<p>えるぼし (3段階)</p> <p>女性の活躍推進に関して優良な取り組みを行った企業を認定 (3段階最上位認定)</p> <p>北陸銀行</p>	<p>プラチナくるみん</p> <p>「子育てサポート企業」として一定の基準を満たした企業を認定(くるみんの最上位認定)</p> <p>北陸銀行</p>	<p>いしかわ男女共同参画推進宣言企業</p> <p>石川県が、男女共同参画推進の具体的な取り組みを宣言する企業を認定</p> <p>北陸銀行</p>	<p>ふくい女性活躍推進企業プラス</p> <p>働く女性が半数を超える福井県が、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を登録</p> <p>北陸銀行</p>	<p>くるみん</p> <p>「子育てサポート企業」として一定の基準を満たした企業を認定</p> <p>北海道銀行</p>	<p>北海道働き方改革推進認定企業 (ゴールド)</p> <p>北海道が働き方改革に取り組む企業を認定。「多様な人材の活躍」、「就業環境の改善」、「生産性の向上」の全項目で評価を受け、最上位のゴールド認定を取得</p> <p>北海道銀行</p>	<p>札幌市ワーク・ライフ・バランスPlus企業認定 (ステップ3)</p> <p>札幌市が、ワーク・ライフ・バランスと女性活躍に積極的に取り組む企業を認定</p> <p>北海道銀行</p>	<p>ORK-LIFE BALANCE+</p> <p>北海道銀行</p>
--	---	--	---	--	---	--	---	---------------------------------------